

NEWSLETTER

No.8
日

2002年10月30

会長 小泉保 事務局 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1 関西外国語大学 澤田治美
研究室内 TEL 072-805-2801 (代表) FAX 072-805-2866 E-mail: tanaka@kansai.ac.jp (田中
廣明宛)

郵便振替口座 00900-3-130378 口座名:日本語用論学会

<http://www2.justnet.ne.jp/~hiro-tanaka/index.htm>

★会員の皆様、お変わりありませんか。日本語用論学会Newsletter第8号をお届けします。さる9月14日に、第15回運営委員会が開かれました。この号は、そこで討議された内容をもとに編集されています。

★第5回大会ご案内

日本語用論学会第5回大会は来る2002年12月7日(土)関西外国語大学・中宮キャンパス・教室棟1号館1階(〒573-1001大阪府枚方市中宮東之町16-1 関西外国語大学 TEL 072-805-2801 (代表) FAX 072-805-2866。詳しくは <http://www.kansai.ac.jp>)で別紙のプログラムの要領で開催されます。今年の大会は、関西外国語大学の新しいキャンパスで開催されます。

今年度は、研究発表16件とシンポジウム1件、さらに午前中にワークショップ16件が予定されています。研究発表は応募が16件あり、14件が採用、その他2件を懇話発表者として発表していただくことになりました。

詳しくは、同封のプログラムと同封のキャンパスマップをご覧ください。

当日は、受付(午前9時開始)にて、プログラム&アブストラクト(ハンドアウト集)及び学会誌(『語用論研究』第4号)をお渡しします。プログラム&アブストラクトは1,000円となっております。受付でお支払い下さい。なお、受付事務簡略化のため、会費未納の方は同封の振替用紙で11月末までにお納め下さい。

当日会員は3,000円となっております。当日会員の方はその他プログラム&アブストラクトに1,000円、『語用論研究』第4号に1,500円必要となります。

受付について：

①現会員(五十音順に机を並べておきます。会費納入状況をチェックしますので、会費未納の方は4,000円をお払い下さい。会費は、受付では2年分(2001年度、2002年度)に渡ってチェックしております(それ以上未納の方は、名簿から除いております)。2年間未納の方は8,000円頂くこととなります。ご了解下さい。会費をすでに郵便振替用紙で払われている方は結構です。また、所属などに変更のある方はお申し出の上、所属変更用紙にご記入下さい)

②新入会員（新入会員申込用紙に必要事項をご記入の上、4,000 円をお払い下さい）。

③当日会員（お名前と所属を用紙にご記入の上 3,000 円をお払い下さい）。

以上の順で手続きをするように机を並べております。なお、①②③の受付すべてで、『プログラム&アブストラクツ 2002』（ハンドアウト集）（1,000 円）をご購入頂くことになります。ワークショップ、研究発表、シンポジウムすべてのハンドアウトが掲載されております。したがって、これがないと会場には入れません。特に、午前中のワークショップから来られる方は開催の 10 時前後が受付が一番混雑しますので、お早めにお越し下さい。ワークショップは午前 10 時より 4 室に分かれて開催されます。受付は 9 時から開けております。『語用論研究』第 4 号は、上記の①現会員と②新入会員の受付では、会費を徴収（あるいは、払い込みを確認）の上お渡ししますが、③当日会員の方でご入用の方は、1,500 円必要となります。

④懇親会の受付：懇親会は 3,000 円です。

⑤バックナンバーの販売：昨年の『語用論研究』（2001 年）第 3 号（1,500 円）、『プログラム&アブストラクツ 2001』（ハンドアウト集）（1,000 円）を販売しております。それ以前の号は売り切れです。『語用論研究』（1999 年）創刊号と（2000 年）第 2 号がご入用の場合は、関西外国語大学図書館、国立国会図書館に寄贈しておりますので、論文のコピーなど、各大学の学外文献サービスでお求め下さい。なお、『語用論研究』の目次はすべて学会ホームページに載せております。

当日の昼食はキャンパス内に食堂があり

ます。学会では、お弁当その他は用意いたしませんので、学内の食堂をご利用下さい。午前中から参加される方は、大学の構内には食堂は主に 2 箇所あります。大学の構内では、厚生会館北館（学生食堂（1F 第 1 食堂、2F 第 2 食堂）、シアトルベストコーヒー（1F）、マクドナルド（1F）、コンビニエンスストア（2F）、洋書の丸善（3F）、銀行の CD 機など（1F）など、すべて揃っています。ただし、厚生北館 2F の教職員食堂は、外部の方にご利用できませんのでご注意ください。また、厚生南館（第 3 食堂、1 号館の裏になります）も大きい食堂です。なお、本学は土曜日にも授業があります。午前中は他教室を使用していますのでご了承下さい。

午後 6 時 30 分より、厚生北館 2 階学生食堂にて懇親会（会費 3,000 円）を行います。受付で会費を徴収しますので、多数ご参加下さい。

関西外国語大学・中宮キャンパスへの交通手段：プログラムのアクセスマップを参照してください。JR 新大阪、JR 京都から、関西外国語大学までほぼ 1 時間のみておかれと良いと思います。

京阪・枚方市駅へは・・・

①JR 新大阪駅からの場合：JR 新大阪→JR 大阪駅→JR 環状線・京橋駅→（のりかえ）京阪・京橋駅→枚方市駅（あるいは、JR 新大阪→（のりかえ）地下鉄御堂筋線・新大阪→淀屋橋→（のりかえ）京阪・淀屋橋→枚方市駅）（注意：京阪・淀屋橋でも、京阪・京橋でも、必ず「急行」か「準急」にご乗車下さい。特急は、枚方市駅には止まりません。）

②JR 京都駅からの場合：JR 京都駅→（のりかえ）近鉄・京都駅→近鉄・丹波橋→（の

りかえ)京阪・丹波橋→枚方市駅(注意:京阪電車・丹波橋からは必ず「急行」か「普通」にご乗車下さい。特急は、枚方市駅には止まりません。京阪・御殿山(普通しか止まりません)からは、徒歩になります。初めての方は、道がわかりにくいので、枚方市駅で下車されてバスの方が便利です。)

京阪の枚方市駅からのバスは・・・

(1)京阪電車枚方市駅で下車→京阪バス北口③のりば。片鉾・小倉町行きに乗車→関西外大で下車(約10分)(同じ乗り場で、小松団地行きに乗りますと、関西外大西門で降りることになります。西門は初めての方にはわかりにくいので、片鉾・小倉町行きに乗ってください)。

(2)京阪電車枚方市駅で下車→京阪バス北口④のりば。長尾駅・樟葉駅方面行きなど④のりばのどのバスに乗っても結構です→関西外大で下車(約10分)

(2)のほうが本数が断然多いです。枚方市駅で、京阪バス南口の「穂谷外大行き」には決して乗らないようにご注意ください。同じ関西外大行きですが穂谷キャンパス(国際言語学部)の方へ行ってしまうます。中宮キャンパスは外国語学部がある場所です。

キャンパスマップは同封の別紙を参照してください。関西外大中宮キャンパスは、今年の4月からの新キャンパスです。以前と同じ、大阪府枚方市内です。当日は、**お車でのご来校はお控え下さい。**

大阪・京都近隣のホテルも同封の別紙を参照してください。ただし、**学会では、ホテルの紹介はいたしておりません**のでご了承下さい。以下いくつかのホテルの予約サイトです。ご参考までに。

<http://www.jtb.co.jp/sp/>(JTBのホテル予約サイト) / <http://www.e-htl.com/>(e-Hotel:旅

行・ビジネスに安心便利なホテル予約サイト) / <http://www2.tabitama.co.jp/index.html>(旅のたまご:旅行情報総合サイト) なお、ホテル情報その他詳しくは、<http://homepage1.nifty.com/digicon/kinki.html>をご覧ください。

★編集委員会から

『語用論研究』(第4号)は現在編集中です。17編の投稿があり、3編が採用されました。ほかに、昨年の第4回大会のシンポジウム、書評、海外の語用論などが掲載されます。第4号は会費を納入された方(新入会員も含めて)に学会当日受付でお渡しする予定です。なお、バックナンバー(創刊号、第2号は売り切れ、去年の第3号を残すのみ)と学会当日会員の方の第4号は1,500円となっております。大会に来られない方で、今年度の会費納入をされている方には、後ほどお送りします。

すでにご連絡済みですが、今年は、採用論文、シンポジウムの論文、書評などすべて、フロッピーディスクを提出してもらい、事務局の田中廣明(関西外大)が、版下を作成しております。

★会費の振り込みについて

会費の振り込みにつきましては、大会当日の事務が大変混雑いたしますので、未納の方は同封の振替用紙で11月末までにお払い下さい。振替用紙が同封されている方は、今年度分(4,000円)が未納の方です。同封されていない方は、すでに納入済みですので結構です。また、2枚あるいは3枚同封されている方は、2000年度、2001年度の会費も未納の方です。申し訳ありませんが、学会の会計をご理解の上、未納の分も併せて

お払い下さい。なお、行き違いがある場合は、ご容赦下さい。会費の未納が2年以上になりますと、会員の資格を失うことになっております。

★役員の一部交替

このたび、役員の一部交替がありました。詳しくは、『語用論研究』第4号の表紙裏面をご覧ください。

企画委員：伊藤克敏（神奈川大学）

★語用論関係の新刊書紹介

神尾昭雄『続・情報のなわばり理論』（2002年9月）大修館書店。

Carston, Robyn (2002) *Thoughts and Utterances: The Pragmatics of Explicit Communication*. Oxford: Blackwell.

Kato, Yasuhiko (ed.) (2002) *Proceedings of the Sophia Symposium on Negation*. Tokyo: Sophia Linguistics Institute for International Communication, Sophia University（上智大学国際言語情報研究所）

宇佐美まゆみ(2002) *Discourse Politeness in Japanese Conversation*. ひつじ書房.

★Forum

呼びかけについて

田中廣明

過日、郷里の高校の同窓会の通知が来た。高校を卒業してから、今年でちょうど何十周年になる。みなさん、おじさん、おばさんになった。是非ご参加をという往復葉書であった。幹事はあまり覚えのない名前。ただ、葉書の下の方に小さなペン書きで、「ブーちゃん、たまには顔を見せろよ」とO君の名前が。そうだ、あいつは郷里で就職してるのだったな。がんばってるかなと、しばし懐かしく……。待てよ「ブーちゃん」なんて、もう何十年も呼ばれたことは

なかったな。何を隠そう、私は生後1年くらいで、郷里の市の健康優良児大会で優勝、県で第3位という輝かしい(?)経歴の持ち主。今はもう、そんな大会、どこの町を探してもない。実は、私のことを「ブー(ちゃん)」と呼ぶのは、小学校、中学校からの同級生のみ。高校、大学以降に知り合った同級生からはそう呼ばれなくなった。成長期だったのか、体調が悪かったのか、10代後半、20代を通して、体重は50Kg台に急に痩せてしまったからである。同じ高校へ進学したO君もいつの間にか「ブーちゃん」とは呼ばなくなっていた。その後の私の体重はご想像におまかせするとして、このあだ名の持つ意味は何だろうと考えてみた。O君は私に何を伝えようとしているのだろう。と、大げさに考えてみても、彼には他意はなく、ただ懐かしくてというのが正解であろう。

「心の理論(theory of mind)」と言われる概念が、最近の語用論、認知言語学、あるいは言語障害の研究で重要視されている。相手の意図を推し量ること、と言ってしまうと簡単であるが、我々はその膨大な量のverbal, nonverbalな情報を処理しているのである。「ブーちゃん」に代表されるあだ名、呼称は、これらの情報のうちnonverbalな機能をより多く担っているのではないかとさえ思えてくる。もし今私が学生なら携帯メールの出だしに「ブーちゃん」と呼びかけて書き出すだろうか。最近の月刊『言語』のあるエッセイで、携帯メールの文化は、あまりにもverbalな情報のみに頼りすぎているという趣旨の警鐘が鳴らされていた。

私も含めて先生と呼ばれている方々、あるいは、学生の皆さん。あなたは、ご自分が(先生を)どう呼ばれて(呼んで)いますか?もちろん、面と向かってではなく。よくご存じと思いますが、呼称については、先駆的な研究に、鈴木孝夫先生の一連のご研究があります。

(関西外国語大学)

ています。事務局田中宛にメールをいただければと思います。

★お知らせとお願い

今年の学会への研究発表、『語用論研究』の応募状況は上記の通りですが、以下の点をお守り下さるようお願いいたします。

(1)他学会との二重投稿はご遠慮下さい。特に、研究発表と『語用論研究』へ同時に同じ内容を応募するのも、お控え願えたらと思います。『語用論研究』への応募は、活字になっておらず、他学会ですでに発表した内容、あるいは、昨年、語用論学会で、ワークショップや研究発表で発表した内容などを歓迎します。

(2)『語用論研究』への応募は、文字数と行数を 38 文字×32 行とする。また、注や、参考文献の活字を小さくしない。

(3)研究発表、ワークショップへの応募の要旨と、『語用論研究』への応募原稿は、ご本人と分かるような書き方はできる限り避ける。

(4)『語用論研究』への英文による投稿論文については、桁数(文字数)×行数は現在、未決定。

以上の点につきましては、現在、運営委員会、編集委員会で検討しているところです。正式な規定ができましたら、ホームページ上と Newsletter、『語用論研究』の最後のページの投稿規定などで、お知らせする予定にしております。

今年の第 5 回大会の研究発表、ワークショップの発表の方々には、来年度の『語用論研究』第 5 号への執筆をお奨めします。査読審査となりますが、ふるってご応募下さい。

学会では、Newsletter の Forum 原稿と、新刊書などのご紹介を、いつでも受け付け

では、12 月 7 日(土)の、関西外国語大学での大会に、たくさんの方が参加していただけるよう願っております。

(事務局 澤田治美・田中廣明記)